

日语偏误与日语教学研究丛书 第3卷

主编 于 康 林 璋

日语格助词的偏误研究

下

于 康	林 璋	张佩霞
高永茂	吕 芳	向坂卓也
徐爱红	高山弘子	彭广陆
于一乐	朴秀娟	黄毅燕
苏 鹰	野村登美子	毋育新
陈昌柏	裴 丽	肥田栞奈

著



浙江工商大学出版社
ZHEJIANG GONGSHANG UNIVERSITY PRESS

日语偏误与日语教学研究丛书 第3卷

主编 于 康 林 璋

日语格助词的偏误研究

下

于 康	林 璋	张佩霞
高永茂	吕 芳	向坂卓也
徐爱红	高山弘子	彭广陆
于一乐	朴秀娟	黄毅燕
苏 鹰	野村登美子	毋育新
陈昌柏	裴 丽	肥田栞奈

著



浙江工商大学出版社
ZHEJIANG GONGSHANG UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

日语格助词的偏误研究. 下 / 于康等著. —杭州: 浙江工商大学出版社, 2018.8

(日语偏误与日语教学研究丛书 / 于康, 林璋主编)

ISBN 978-7-5178-2859-4

I. ①日… II. ①于… III. ①日语—助词—教学研究
IV. ①H369.35

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2018)第 154696 号

日语格助词的偏误研究(下)

于 康 等著

责任编辑 董文娟 姚 媛

封面设计 林朦朦

责任印制 包建辉

出版发行 浙江工商大学出版社

(杭州市教工路 198 号 邮政编码 310012)

(E-mail: zjgsupress@163.com)

(网址: <http://www.zjgsupress.com>)

电话: 0571-88904980, 88831806(传真)

排 版 杭州朝曦图文设计有限公司

印 刷 虎彩印艺股份有限公司

开 本 710mm×1000mm 1/16

印 张 16

字 数 302 千

版 印 次 2018 年 8 月第 1 版 2018 年 8 月第 1 次印刷

书 号 ISBN 978-7-5178-2859-4

定 价 42.00 元

版权所有 翻印必究 印装差错 负责调换

浙江工商大学出版社营销部邮购电话 0571-88904970

目 录

第16章 「○→に」与「に→○」的偏误分析·····	1
16.1 「中国では2008年四川省大震災が起きました。」错在哪里? ·····	3
16.2 「毎朝十二時起き、買物をしたり、友達と遊んだり、毎日いろいろなことをやりました。」错在哪里? ·····	6
16.3 「自己と社会を統一して、価値を実現します。最後、自分を磨いて、成功に近づいていきます。」错在哪里? ·····	9
16.4 「資源を守ることは、資源国だけでなく、利用国も責任がある。」错在哪里? ·····	12
16.5 「徐さんは私からケーキをあげました。」错在哪里? ·····	15
16.6 「大学入学試験ではいい成績を取ると、大学入学ができます。」错在哪里? ·····	18
16.7 「人が見るもの聞くものすべて新鮮な感じが与えられる。」错在哪里? ·····	21
16.8 「ワールド・カップのためにサッカーのチームを2つ分けて、試合をしました。」错在哪里? ·····	24
16.9 「しかし、思うだけでは何もならない。」错在哪里? ·····	27
16.10 「未来のことは誰もわかりませんが、自然の成り行きに任せるものだろうと思います。」错在哪里? ·····	30
16.11 「私も新しい友達ができました。」错在哪里? ·····	33
16.12 「発展途上国自身も、その技術を吸収して利用するため、人材を育成していかなければならないと考えている。」错在哪里? ·····	36
16.13 「日本語にその共通した意味以外、新しい意味がある。」错在哪里? ···	39
16.14 「職業としては、編集者とか記者とか、私は一番興味を持っている。」错在哪里? ·····	42

16.15	「日本人は細部までこだわる習慣があります。」错在哪里?	45
16.16	「私たちの教室は宿舎から遠いから、30分間に歩きます。」错在哪里?	48
16.17	「大学に入る前に、私は日本に対する具体的な認識はほとんどありませんでした。」错在哪里?	51
16.18	「旅行の時に、私はゆっくり、のんびり自由自在の生活を過ごしたい。」 错在哪里?	54
16.19	「相手に自分の状況をきちんと伝えと同時に、次回に行くことを提案した。」错在哪里?	56
16.20	「でも、高齢者自身にも努力する必要がある。」错在哪里?	58
16.21	「愛妻弁当には日本人の家庭観を体現している。」错在哪里?	62
16.22	「出口には、乗客でとても込んでいます。」错在哪里?	65
16.23	「若者のマナーはいったいどういうものかという、私には以下の考えを持っている。」错在哪里?	68
16.24	「今、私は百万元が当たったら、その夢を実現にしたいと思います。」 错在哪里?	71
16.25	「もちろん相手は自然だから100%的中するわけではないが、せめてその災害を小さくにできるのなら、幸いなことだ。」错在哪里?	75
16.26	「『おいてください』と『召し上がる』という尊敬の意を表す言葉が用いられているために、その主語『あなた』が省略される。」错在哪里? ...	78
16.27	「廃気、廃水などの廃棄物がそのまま遺棄されるのは私たちにはよく知っているでしょう。」错在哪里?	82
16.28	「舞台に立っている時、自分にもびっくりしました。」错在哪里? ...	85

第17章 「○→で」与「で→○」的偏误分析 89

17.1	「大学のキャンパスの中、寮の環境と教室の環境が一番重要です。」错在哪里?	91
17.2	「サークルはいろいろな活動が開催されます。」错在哪里?	94
17.3	「作品のなか一番有名なのは『辺城』という小説だ。」错在哪里?	97
17.4	「もちろん、唐山地震、汶川地震、青海地震などを知っている。新聞、写真、ビデオ見たこともある。」错在哪里?	101
17.5	「自転車では五分着きます。」错在哪里?	104
17.6	「彼は14歳科学に合格した。」错在哪里?	106
17.7	「私と李さんと呂さん一緒に教室へ勉強に行きます。」错在哪里? ...	109

17.8 「二三回のクリックのみすべての内容が目の前に現れる。」錯在哪里？	113
17.9 「その内容は非常に多くて、ただ半年間だけは、すべてが身につくわけがないと思う。」錯在哪里？	116
17.10 「北方人口が大規模に転入したこと、寧波の開発が加速した。」錯在哪里？	119
17.11 「セールの夏市もせいぜい9時半までしかないんですけど、一次会、二次会が続いて、深夜まで町ではやっぱりにぎやかです。地下鉄の中では、昼間はすごく静かですが…」錯在哪里？	122
17.12 「大みそかの晩、みんなで忙しかったです。」錯在哪里？	124
17.13 「女性は消費の場では大活躍して、円を使うのは強いが、稼ぐ場合ではちょっと苦手かもしれません。」錯在哪里？	126
17.14 「大体五月十六日から開始し、連続三日間で行われる。」錯在哪里？	130
17.15 「高校時代で、日本アニメを見ていた人は多くありませんでした。」錯在哪里？	132
17.16 「大学を卒業したあとで、私は日本へ旅行するつもりです。」錯在哪里？	136
17.17 「入学した時の期待感と違って、今の胸の中では嬉しさと悲しさが融合して、言うに言われぬ気持ちである。」錯在哪里？	141
17.18 「こういう11の例文がある。一つ一つで説明しよう。」錯在哪里？	146
17.19 「日本の文化もある程度で日本の孤独死の多発に影響を及ぼしたのではないであろうか。」錯在哪里？	149
17.20 「男と女とも使える。ただし、『僕』は男性だけで使える。」錯在哪里？	152

第18章 「○→が」与「が→○」的偏误分析 157

18.1 「彼の封建的な論理思想こそ一人の命を絶ってしまったのである。」 错在哪里？	159
18.2 「では、どれぐらいいいか、早く決めたほうがいいです。」错在哪里？	162
18.3 「将来、日本語に関する仕事したい。」错在哪里？	164
18.4 「両方の両親を養って、子供を産んで、みんな幸せになれるように努力する。」错在哪里？	167
18.5 「それは私たち今真剣に考えていることだ。」错在哪里？	170
18.6 「練習に毎日二時間がかかります。」错在哪里？	172
18.7 「広告への信頼度はどのぐらいがあるか。」错在哪里？	176

18.8 「散歩後、家族が全員でテレビを見ました。」错在哪里?	179
18.9 「この名前を聞いて、みんなが笑わずにいられなかった。」错在哪里? ...	182
18.10 「誰によって作られたのかがわからないが、長い間、言語生活で使われ続けている。」错在哪里?	186

第19章 「○→を」与「を→○」的偏误分析 189

19.1 「去年からは中国旅行社で見習いし、無印良品でアルバイトをした。」错在哪里?	191
19.2 「日本において茶道を行う場所は主に茶室や茶庭である。茶事をうまく進めるために、主人はさまざまな準備する必要がある。」错在哪里?	194
19.3 「毎日の勤務時間はきっと10時間超えると思う。」错在哪里?	197
19.4 「言葉の勉強にどうしようもなく悩み苦しんでいた私が今はどうなったのか、次に書きましょう。」错在哪里?	200
19.5 「東日本大震災のこと、例として、日本人の集団意識を述べたい。」错在哪里?	204
19.6 「私は本音を出して『自分の力で生きるためです』と答えた。相手は大笑いをした。」错在哪里?	207
19.7 「最後に、4年間の大学生活において、さまざまなご助言と御鞭撻をくださった担任の周先生に、深謝を申し上げます。」错在哪里?	211
19.8 「そろそろ夏休みになります。夏休みの間、何かをしたいと思います。」错在哪里?	214
19.9 「高校卒業してから2ヶ月を経って、私は大学に入りました。」错在哪里?	217

第20章 「○→から」与「から→○」的偏误分析 221

20.1 「毎日『温さん、今日は何時ですか? 授業はありますか?』と聞かれて、『えらいね、賢いな』と褒められる。」错在哪里?	223
20.2 「大気汚染につながる原因を考えてみてください。まず、工場の排気が一因であると思う。」错在哪里?	225
20.3 「しかし、その時代の人たち見たら確かにそのときの珍しい物だと思います。」错在哪里?	228
20.4 「小学から卒業後、中学に入りました。」错在哪里?	231

20.5 「その結果、数多くの女性が結婚後から職場から離れ、社会に『既婚女性の主婦化』現象が現れた。」错在哪里？	234
20.7 「山西省産のお酢は故郷からの味なので、大学に出発するとき、お酢を持って来ました。」错在哪里？	237
参考文献	240
后 记	244

第16章 「○→に」与「に→○」的偏误分析

16.1 「中国では2008年四川省大震災が 起きました。」错在哪里？

标题日语被判断为偏误用法,正确的说法应该是:

(1) 中国では2008年に四川省大震災が起きました。

也就是说,句中的名词「2008年」后面不能没有格助词,应该加上「に」,句子才能成立。与标题日语相同的偏误例句还有:

(2) 高齢者人口が1997年<○→に>は15.7%に達した。

(3) 東京オリンピックは2020年<○→に>開催されます。

通过分析标题日语和例句(2)、(3)可以看出,在句式上,它们都具有一个相同的特点,即当句中使用年份来表时间时,需要使用格助词「に」来标记。

伊勢田(1991:118-119)指出,在日本的外国留学生犯的错误中,有些是该用格助词「に」的地方却用了其他助词,有些是漏用了格助词「に」^①。下面的例子也都属于漏用时间名词的标记「に」的用法。

(4) 7時半<○→に>家を出ても学校の1時限目の授業に間にあうが、こんでいる電車をさけるためには実際は6時半<○→に>家を出ることになる。

(5) 朝8時<○→に>起きてすぐに友達に電話をした。

例句(4)、(5)中的时间词用来表时刻,与标题日语和例句(2)、(3)相同,都属于漏用「に」的偏误用法。关于表时刻名词的格助词偏误问题,我们将在其他文章中讨论。

那么,是否表年份的时间词在句中都需要使用「に」标记呢?我们对2015年的日本报纸『読売新聞』进行了调查,结果发现,有的用来表年份的名词并没有使用「に」标记。例如:

(6) 1962年、鉄筋コンクリート造りの新宝庫が完成した。(『読売新聞』2015年)

① 伊勢田(1991:118-119)称之为「欠損」。

(7) 高橋由伸が慶大から入団した1998年、長嶋監督(当時)はその打撃を見て、「天才打者」と評した。(『読売新聞』2015年)

例句(6)和(7)的用法实际上是一种比较特殊的用法。这种用法通常用来表述历史事实,而且,大多情况下需要将「～年」放在句首并用「、」与后续句子隔开。其功能近似于用来提示主题^①,即在提示事情发生的时间之后,再对此进行说明。

既然表年份的时间名词既可以用「に」标记,也可以不用「に」标记,这就需要弄清什么条件下必须用「に」,什么条件下不能用「に」,这样才能解释清楚标题日语出错的原因。

表时间的名词是否使用「に」标记,分下列3种情况(松岡2000:359-360):

- ① 必须用「に」标记;
- ② 无须用「に」标记;
- ③ 可用也可不用「に」标记。

我们使用『YUKタグ付き中国語母語話者日本語学習者作文コーパス』Ver.5对「に」的偏误用法进行了检索,得到下面这样的例句。

(8) 2020年<○→に>弟と一緒に日本オリンピックを見にいきたいです。

(9) 彼は2006年<○→に>もう死んでいました。

(10) 『木乃伊の口紅』は明治46年<○→に>発表された作品である。

(11) 中国での12年間<○→に>、矢野さんは中国の芸能界に影響を与えました。

(12) 数年の内<○→に>、その町の経済はどんどん上昇していきだろう。

例句(8)和(9)与标题日语一样,都属于该用「に」,而没用「に」的偏误用法。这两个例句只有在一种条件下可以无须使用「に」标记时间,如例句(13)和(14)所示,将例句(8)中「2020年」和例句(9)中的「2006年」移位至句首,并用「、」隔开。

(13) ×2020年弟と一緒に日本オリンピックを見にいきたいです。

○2020年、弟と一緒に日本オリンピックを見にいきたいです。

(14) ×彼は2006年もう死んでいました。

○2006年、彼はもう死んでいました。

无须使用「に」标记时间时,除了上述构句上的条件外,语义上也有限制。例句(13)中的「弟」和例句(14)中的「彼」必须是话题中出现的而且是双方共知的人物,或大家熟知的著名人物。如果只是作者(或者说话人)自己知道的人物,则不能省略格助词「に」。

例句(8)和(9)如果使用汉语表达时,通常情况下汉语是无须使用任何语法标记的,如例句(15)和(16)所示:

① 寺村(1991:271)称之为“类似于主题提示(一種の提題のように)”。

(15) 2020年我想和弟弟一起去看日本奥运会。

(16) 他2006年就死了。

因此,中国人在使用日语写文章或口头交际的时候,往往会漏用「に」。

例句(10)中的「明治46年」与「発表された」一起构成定语,用来修饰「作品」,即「[明治46年に発表された]+作品」。这类用于定语中的时间词,必须使用「に」标记,不能省略,也不能使用「～時間詞、」这种句式。

例句(11)和(12)中表时间的词语「～年間」和「～の内」可以有两种解释:一种是将其中「～年」解释为一个整体的时间,另一种是将「～年間」解释为动作持续的时间范围。当解释为前者时,必须使用「に」,当解释为后者时,无须使用「に」。

例如:

(17) 彼は10年間ずっと東京に住んでいる。

例句(17)中的「10年間」表示的是「東京に住んでいる」这个行为持续的时间范围,所以无须使用「に」标记。

由此可见,标题例句「中国では2008年四川省大震災が起きました。」^①之所以是一个偏误用法,是因为在表示事件发生的时间时,必须使用「に」标记该时间。只有当「2008年」提到句首,并以「、」断开,而且「四川省大震災」又必须是话题中出现的且是双方共知的事件时,才能如「2008年、中国では四川省大震災が起きました。」所示,无须使用「に」标记时间。显然,标题日语句子表达的并非是这个意思,所以,标题的日语句子中的时间词必须用「に」标记。

综上所述,「～年」的后面接格助词「に」的使用条件大致可以归纳为下列两点:

- ① 当表示事件发生的年份时,通常情况下需要在「～年」的后面接上格助词「に」。尤其是用于定语从句中时,「～年」后面的格助词「に」必不可少。
- ② 当表述历史事实的时候,如果「～年」置于句首,并用顿号顿开时,可以省略格助词「に」。不过这种用法属于特殊用法,主语表达的必须是话题中出现的而且是双方共知的事件。

(作者:高永茂,广岛大学。原文为日文,刘杰翻译)

① 因作者研究需要,文中出现的日文例句,均加注结句标点。

16.2 「毎朝十二時起き、買物をしたり、友達と遊んだり、毎日いろいろなことをやりました。」错在哪里？

标题日语被判断为偏误用法,正确的说法应该是:

- (1) 毎朝十二時に起き、買物をしたり、友達と遊んだり、毎日いろいろなことをやりました。

也就是说,句中的名词「十二時」后面不能没有格助词,应该加上「に」,句子才能成立。与标题日语相同的偏误例句还有:

- (2) 休みの日、私はよく10時<○→に>起きています。
(3) 午後は一時から授業が始まります。そして五時<○→に>終わります。

通过分析标题日语和例句(2)、(3)可以看出,在句式上它们都具有一个相同的特点,即当表示几点时,需要使用格助词「に」来标记。

伊勢田(1991:118-119)指出,在日本的外国留学生犯的错误中,有些是该用格助词「に」的地方却用了其他助词,还有很多则是漏用了格助词「に」^①。下列例句也是表示时间点的名词后接格助词「に」时产生的误用。

- (4) 7時半<○→に>家を出ても学校の1時限目の授業に間にあうが、こんでいる電車をさけるためには実際は6時半<○→に>家を出ることになる。(伊勢田 1991:119)

- (5) 朝8時<○→に>起きてすぐに友達に電話をした。(伊勢田 1991:119)

时间点后面本来应该使用格助词「に」,但是学习者却没有用。那么,是否表时间点的名词都必须用「に」标记呢?我们对2015年的日本报纸『読売新聞』进行了调查,结果发现很多无标记的例句。例如:

- (6) 31日午後6時、鎮火祭^②。(『読売新聞』2015年)

① 伊勢田(1991:118-119)称之为「欠損」。

② 「鎮火祭」是每年12月31日下午6点开始,在广岛的严岛神社的御笠浜进行的消除火灾的祭祀活动。

(7) 午前10時開店。(『読売新聞』2015年)

例句(6)和(7)分别是告知祭祀活动的开始时间和店铺开门时间。「～時」位于句首,用来提示后面的活动时间。并且,大多情况下都将句末的动词省略,用名词(包括动作性名词)结句。当然,这种表达方式的使用是有限制的。在小说中一般使用下列表达方式,日常会话中也是如此。

(8) しかも、十二時に、私たち兄弟はそろって母に逢いに出発した。(太宰治『女神』)

虽然日语中也有例句(6)、(7)这样的说法,但是我们还是不能承认标题日语和例句(2)、(3)的用法,这是为什么呢?

标题日语必须使用格助词「に」来标记“动作或状态成立的时刻”^①,所以零标记属于偏误用法。这种偏误用法与名词的种类有关。表示时间的名词接格助词「に」时,分为下列3种情况(寺村1991:270-271,松岡2000:359-360):

- ① 无须用「に」标记;
- ② 必须用「に」标记;
- ③ 可用也可不用「に」标记。

「～時」属于②。「～時」所指的时刻能够在钟表上确定,也就是说,它是人为制定的。这时的格助词「に」是用来界定时刻的。除了例句(6)、(7)这种表达通知含义的句子外,通常使用「～時に」这种形式来表达。「～年、～日、～月、～曜日」和「～時に」一样,也属于②。

如例句(9)、(10)所示,以汉语为母语的日语学习者,之所以会漏用格助词「に」,有可能是因为受母语的影响。

(9) 通常人在7点左右起床后20~30分钟再吃早餐比较合适,因为这时人的食欲最旺盛。(《CCL语料库》)

(10) 每两周我都有一次同客户极为守时的午餐会:12点30分见面,1点开饭,2点30分结束。(《CCL语料库》)

例句(9)、(10)中表示时刻的名词直接修饰动词,不需要像日语格助词「に」那样的语法标记。以汉语为母语的日语学习者,可能是将汉语的这一句子结构运用到日语中了,所以没有用格助词「に」来标记「～時」。

为了进一步验证日语学习者漏用格助词「に」是因为受到母语的影响,我们使用『YUKタグ付き中国語母語話者日本語学習者作文コーパス』Ver.5对漏用「に」的这种偏误用法进行了检索,得到下列例句。

(11) 私は毎朝6時<○→に>起きます。私は毎晩12時<○→に>寝ます。

① 高橋(2005:38)认为,此时的格助词「に」属于“表示动作或状态成立の状況(動作や状態がなりたつ状況をあらわす)”。

(12) 私は十二時<○→に>寝室で昼ご飯を食べます。

(13) 神戸港から高松港までのフェリーは4時間かかるので、友達と一緒に8時<○→に>出発することを約束しました。

(14) カラスの鳴声が物淋しく聞こえ、そしてよく朝や夕暮れの時<○→に>鳴くため、哀傷と物淋しさの象徴とされる。

例句(11)~(13)与标题日语一样,都属于该用「に」,而没用「に」的偏误用法。这3个例句中的时刻,不管说话时间和谈话场景如何,都是能够在钟表上确定的时间。在这种情况下,需要使用格助词「に」。学习者在写这些日语句子的时候,可能同时在大脑中浮现“我每天6点起床,每晚12点睡觉”“我12点在寝室吃午饭”这些汉语的表达方式。

例句(14)虽然不是「～時」这一表达方式,但和“时间名词+格助词「に」”是同类现象。「朝や夕暮れ」虽然不是能在钟表上确定的时刻,但是需要接格助词「に」,这是因为例句(14)中的「朝や夕暮れ」所表达的是具有一定时间长度的时间流程上的某一点。这里所说的具有一定时间长度的时间流程,以例句(14)为例,指的是「一日」。这可以从语境中判断出来,可以说是一种常识。乌鸦只在「一日」中的「朝」和「夕暮れ」的时候鸣叫频繁。在此,「朝」和「夕暮れ」表示的是时间流程中的一个时间点,与「～時」具有同样的性质,所以需要格助词「に」标记。16.3节中涉及的「最後に」也与此有关联。

综上所述,标题日语属于偏误用法,这是因为表示时刻的「～時」需要用格助词「に」标记。「～時」后接格助词「に」的使用条件可以简单归纳为以下两点:

- ① 如果使用「～時」表示动作或状态成立的时刻,通常需要用格助词「に」来标记。
- ② 在通知文告等个别情况下,也可以只用「～時」。这时的「～時」位于句首,用来提示后面的活动时间,并且大多情况下都将句末的动词省略,用名词结句。

(作者:高永茂,广岛大学。原文为日文,刘杰翻译)

16.3 「自己と社会を統一して、価値を実現します。最後、自分を磨いて、成功に近づいていきます。」错在哪里？

标题日语被判断为偏误用法,正确的说法应该是:

- (1) 自己と社会を統一して、価値を実現します。最後に、自分を磨いて、成功に近づいていきます。

也就是说,句中的名词「最後」后面用格助词「に」标记,句子才能成立。与标题日语相同的偏误例句还有:

- (2) もしできれば、冬休みに母に簡単な料理を習うつもりだ。最後<○→に>、今度の春節に、祖父と祖母はホンコンから泉州へ帰るそうだ。
(3) スクリーンを見ると、子供は近視になりやすい。最後<○→に>、子供はスマートフォンに夢中になり、現実の友達を離れることが問題だ。

标题日语和例句(2)、(3)中的「最後」这个词都用来表示文章内容的先后顺序。在日语表达中,使用「最後」表述最后的事项时,应该在「最後」的后面加上格助词「に」。虽然「最後」并不是我们在16.1节和16.2节中所讨论的时间名词,但是它们都有一个共同特征,即都是根据时间来排列事件的先后顺序,或者按照次序来列举事例的。

除了「最後」之外,名词「最初」上也有相同的偏误现象。例句(4)和(5)中的「最初」后面也需要加上格助词「に」才能成立。也就是说,表示先后顺序的名词都需要用格助词「に」标记。

- (4) まず、最初<○→に>、携帯電話は連絡しやすくなるように作られた。
(5) この論文については、最初<○→に>、表題を選択し、資料を集め、骨格を固めた。

上述规则也适用于其他同类名词。「次」「～番目」等名词也具有表示时间先后顺序的功能,这些名词同样需要用格助词「に」标记。因此,例句(6)、(7)也属于偏误用法。

- (6) 情報に対して自分の判断力が弱いから、悪い影響があるのではないだ